

第1回 四日市コンビナート先進化に向けた水素有効活用検討委員会 議事概要

0. 開催概要

日時 2017年7月7日(金) 15:00~17:15

場所 四日市市役所 6階 本部員会議室

出席者

【委員】(順不同、敬称略)

和田正武委員長：帝京大学名誉教授

元 通商産業省 中国通商産業局長

前 三重県産業支援センター 高度部材イノベーションセンター長

伊藤響委員：中部大学 工学部 創造理工学実験教育科/応用化学科 教授

小俣香織委員：鈴鹿工業高等専門学校 材料工学科 助教

山本真生委員：石原産業(株)四日市工場 設備管理部 設備グループマネージャー

村田繁委員：KHネオケム(株)四日市工場 管理部長

中島元委員：コスモ石油(株)製造ユニット四日市製油所 製造担当副所長

若本明委員：昭和四日市石油(株)四日市製油所 副所長

塩川豊委員：東ソー(株)四日市事業所 事業所長室 生産・技術管理グループリーダー

藤巻精一委員：三菱ケミカル(株)四日市事業所 企画管理部長

【関係行政機関等】(順不同、敬称略)

中島弘志：経済産業省 中部経済産業局 資源エネルギー環境部 燃料課長

大平英二：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
新エネルギー部 燃料電池・水素グループ 主任研究員 プロジェクトマネージャー

長谷川茂：三重県 雇用経済部 エネルギー政策・ICT活用課 課長

井上幸司：三重県 雇用経済部 エネルギー政策・ICT活用課 エネルギー政策班 主査

藤井信雄：四日市市 副市長

佐藤恒樹：四日市市 商工農水部長

【事務局】(順不同、敬称略)

森次長、矢澤係長、服部：四日市市 商工農水部 商工課

三田、志摩、浜名、城ノ口：(株)三菱ケミカルリサーチ

※会議の内容について、委員会参画企業の法人情報が含まれており、企業活動への影響を及ぼす可能性があることから、一部非公開としている。

資料

事項書

委員名簿

出席者名簿

エネルギーを取り巻く社会情勢及び水素社会の最新動向

資料 1-1 エネルギー動向/水素社会/水素・燃料電池ロードマップ/先進地域の動向

資料 1-2 Hydrogen Council/Power to Gas/エネルギーキャリア/水素発電

資料 1-3 石油業界におけるエネルギー産業に向けた取り組み

資料 1-4 メタンハイドレートの進捗状況

資料 2 四日市コンビナートにおける水素利活用フロー図、論点（非公開）

資料 3 今後のスケジュールについて（非公開）

1. 藤井副市長 開会挨拶

昨年度に引き続き委員の皆様にお集まりいただき、感謝申し上げます。昨年度は、コンビナート企業が水素を産業面でどのように活かしていくのか、NEDOなどの取り組みを含めて協議し、副生水素の使い方や海外からの水素輸送について課題を抽出した。本年度は、コンビナート先進化に向けて、水素社会という国の政策に対して、企業のノウハウを活かす仕組みを作り、平成 30 年度の国の実証試験などの事業に採択される方向を期待している。

人事異動による委員交代もあるが、組織的な引き継ぎが行われていると考えている。市としてもお膳立てするので、「水素社会に向けたコンビナートの先進化」を世間に広めていきたい。宜しく願います。

2. 委嘱状交付

藤井副市長から各委員に交付された。

3. 和田委員長挨拶

この 3 月まで AMIC センター長であったが、これからも四日市に来るので、よろしく願います。これから何をやっていくのか、落としどころを探ることになる。四日市コンビナート先進化のために水素を活かすこと。すなわち、今後の水素社会に向けて何かできないか、昨年度の議論も踏まえて、具体的な提案に結び付けていきたいと考えているので、よろしく願います。

4. 自己紹介ならびに配布資料確認

各委員及び関係行政機関等から自己紹介が行われた。

また、事務局より配布資料の確認が行われた。

5. 平成 28 年度四日市コンビナートにおける水素関連事業可能性検討委員会(報告)

事務局（森）：4 回の会合、2 回のヒアリングを実施した。その結果「水素社会に向けたコンビナート先進化」を検討する必要性を共有し、平成 29 年度以降も「課題①～④を中心に議論していく」ことで合意した。また、「将来の大きなモデルを念頭に置きながら、足元の小さなモデルから」「コンビナートの内外、供給元と使い道を考えていく方向」との認識を共有した。

6. エネルギーを取り巻く社会情勢及び水素社会の最新動向(報告)

事務局（三田）から以下の内容を報告した。

- (1) エネルギー動向（世界の変化）
- (2) 水素社会（水素導入のシナリオ）
- (3) 水素・燃料電池ロードマップ（日本の戦略）
- (4) 先進地域の動向（実証試験例）である。
- (5) Hydrogen Council（社会の変化）
- (6) Power to Gas（欧州の変化）
- (7) エネルギーキャリア（技術革新その 1）
- (8) 水素発電（技術革新その 2）
- (9) 石油業界におけるエネルギー産業に向けた取組み
- (10) メタンハイドレートの新進状況

ー以降、非公開ー

以上